



2025 年 10 月 20 日

ときわバイオ株式会社

シリーズ B 資金調達ラウンドで総額 3.9 億円を調達

ときわバイオ株式会社（本社：茨城県つくば市、代表取締役社長：中西真人）はこのたびシリーズ B の資金調達ラウンドを完了し、イノベーション京都 2021 投資事業有限責任組合（京都大学イノベーションキャピタル株式会社）・THVP-2 号投資事業有限責任組合（東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社）・ロート製薬株式会社およびつくばエクシード 2 号投資事業有限責任組合（株式会社常陽キャピタルパートナーズ）から、総額 3 億 9,000 万円の出資を受けたことをご報告します。

当社は、「ステルス型 RNA ベクター（SRV）を使った再生医療用ヒト細胞創製技術の実用化」を目指し、文部科学省が実施した 2013 年度大学発新産業創出拠点プロジェクト（START）の支援を受けて、2014 年 12 月に設立されました。その後、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）が実施した「遺伝子・細胞治療研究開発基盤事業」（2018 年度～2023 年度）や「再生医療・遺伝子治療の産業化に向けた基盤技術開発事業（再生医療シーズ開発加速支援）」（2019 年度～2021 年度）に研究代表者として参画し、公的支援の下にステルス型 RNA ベクター技術の実用化を進めてきました。当社は遺伝子治療と再生医療の 2 つの領域で AMED の支援を受けた唯一のバイオベンチャーであり、その技術のポテンシャルは高く評価されています。

この間、2017 年には、シリーズ A の資金調達ラウンドで計 3 億 3,000 万円を調達すると共に、2020 年に本社・研究所をつくば研究支援センター内に移し、研究開発を加速させました。2020 年には研究用試薬「SRV iPSC シリーズ」の一般販売を開始し、品質の高い iPS 細胞を作製するための標準的な技術として、幹細胞分野の専門家から高い評価を得ています。さらに現在、京都大学 iPS 細胞研究財団・京都大学 iPS 細胞研究所との共同研究により、臨床用 iPS 細胞の製造に最適な新型 SRV iPSC ベクターの開発を進めています。



今回の資金調達により、当社は臨床グレード新型 SRV iPSC ベクターの製造を進めると共に、ステルス型 RNA ベクターを使った各種細胞リプログラミング技術・細胞若返り技術などの実用化と海外での事業展開を進め、医療用ヒト細胞加工分野のリーディングカンパニーを目指します。

・ときわバイオ株式会社について

ときわバイオ株式会社は、国立研究開発法人産業技術総合研究所で開発された純国産の遺伝子導入・発現技術「ステルス型 RNA ベクター（略称：SRV）」の実用化を目指して設立された、産総研技術移転ベンチャーです。SRV は、血液細胞を含むほぼすべてのヒト細胞に最大 10 個の遺伝子を効率よく導入し、ゲノム DNA に挿入することなく安定に発現することができるユニークな技術です。また、導入した遺伝子が不要になった段階で SRV のゲノム RNA を細胞から迅速かつ完全に消去することができるため、転写因子を使った細胞リプログラミングの理想的な手法として評価されています。当社では、ヒト iPS 細胞の作製を含むさまざまな細胞リプログラミング・ヒト細胞の若返り・ゲノム編集など、医療用のヒト細胞加工技術に最適化な SRV の開発を進めています。

・本件に関するお問い合わせ先

ときわバイオ株式会社

本社所在地：

茨城県つくば市千現 2 丁目 1-6 つくば研究支援センター G 棟 1 階

TEL：029-893-6040

E-mail：info@tokiwa-bio.com

URL：https://tokiwa-bio.com